

## 海外の山と日本の山

ハイキング  
と登山？

ハイキング  
(軽登山) って  
どこまで～？

山と溪谷社  
登山技術全書 登山入門より

**■ 海外の山(ヨーロッパアルプス)**



雪線を超える山  
＝クライミング

前山・丘・草原  
＝ハイキング

海外の山はクライミングとハイキングの対象が明確に分けられている

**■ 日本の山(日本アルプス)**



高山・けわしい岩山  
＝登山・登攀

中級山岳  
(1500～2500m級)  
＝登山またはハイキング

低山  
＝ハイキング

日本では高山・中級山岳・低山の区別がはっきりせず、低山を登る気分のみで、高山や難峰にも踏み込んでしまいがち

北アルプス・薬師岳から槍・穂高方面。けわしい岩稜の山となだらかな山々が混在している

マッターホルンの山麓を歩くハイカー。距離は近くても両者の境界ははっきりしている



**日本勤労者山岳連盟**  
Japan Workers' Alpine Federation

JWAFとは | アクセス | お問い合わせ | リンク | サイトマップ

  
申請

  
労山基金

  
加盟団体

  
活動紹介

  
優待施設

  
出版物

### 労山基金

**■ 目次**

- 労山基金（労山山岳事故対策基金）とは
  - 基金の説明・規定など文書類
  - 基金の運営
  - 基金改定のお知らせ
- 労山基金に加入するには
- 寄付金と交付について
- 労山会員優待のサービス
- 各種申請書・お問い合わせ

**労山基金（労山山岳事故対策基金）とは**

遭難対策事業の一環として、日本勤労者山岳連盟（労山）が運営している基金です。労山会員の寄付によって運営する、会員のための山岳遭難救済制度です。救助・捜索やケガ、急病などの登山中の事故を救済対象とします。

**(9) ヘリ救助**

ケガや病気で緊急を要する場合や、自力での下山が困難な場合は、ヘリコプターによる搬出を要請しましょう。要請先は110番（各都道府県警察）です。ヘリコプターは日没後の飛行ができません。日没まで余裕のある時間帯で、頭上が開けた場所で待機しましょう。ヘリコプターから地上にいる人を見つけるのはたいへん困難です。現在地をできるだけ具体的に詳しく警察に伝え、ヘリコプターが見えたら点滅ヘッドランプを使ったり、雨具や銀マットを大きく振るなどで合図しましょう。また、「ココヘリ」という会員制の超小型・無線発信機が普及しています。これを持参していると、上空からの発見が非常に容易になります。特に、単独で山に入った時には、もしも転落すると行方不明になってしまいます。そんな時にも、「ココヘリ」は行方不明者発見に大きな威力を発揮します。

ココヘリ  
<https://cocoheji.com/top-a>



**「ココヘリ」の仕組み**

CHECK-03

「ココヘリ」は、入会金・年会費を支払って登録する「会員制捜索ヘリサービス」です。会員になると、識別番号をもった電波発信機が会員証として貸与されます。大きさは3.9cm×5.7cm×1.3cmとコンパクト、重さも約20gと、持ち運びに苦しみません。電波の受信距離は最大16km、1回の充電で約2〜3ヶ月間、電波を発信し続けます。万が一、会員が山で遭難し、行方不明になった場合、留守宅からの連絡を要す、その山域へ提携の捜索ヘリが飛び(※)、会員の電波をキャッチして位置を早く正確に特定し、救助組織に引き継ぎます。



※ 捜索ヘリは1事案につき3回まで無料

**登山者の安全・安心のための 新たな三種の神器 「登山計画」「山岳保険」、そして「ココヘリ」**

CHECK-04

遭難者の位置がわかったら、救助活動が始まります。もちろん発見してすぐに救助できる場合もありますが、場所が特定されても、すぐに救助できない場合もあります。救助にヘリが使える場合もあれば、人の手が必要なる場合もあります。遭難者を探すことと、救助することは、別のものなのです。

登山保険 + 登山届け + ココヘリ



**山岳会に入ろう!!**

- 仲間作り
- 安全登山の基本を学ぶ：新人山行力量に合った山行の指導、段階的指導
- クライミング、沢登り、冬山入門、雪崩講習会、雪洞訓練、アイスクライミング入門
- 海外：海外登山、海外トレッキング
- 国内：日本百名山、北海道百名山
- 近郊登山：札幌50峰、100峰、150峰

**登山を学ぶステップ**



